



ADRC Highlights

Vol.71

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

June 2, 2003

➤ スリランカ南部・南西部で大洪水が発生

スリランカはインド洋に浮かぶ熱帯の島国で、インドの南、北緯 6~10 度、東経 80~82 度に位置しています。全体の面積（内陸水含む）は 65,525 km²で、人口密度は一平方キロメートル当たり 304 人です。同国の年間平均気温は低地で 27℃、ノワラ・エリヤ（高度 1800m）で 15℃、年間降雨量は南西部で 2500~5000mm、北西・南東部では 1250mm となっています。南西モンスーン（5 月~8 月）と北東モンスーン（11 月~2 月）の時期には多くの降雨が観測されます。

先般の 2003 年南西モンスーンは、スリランカの 50

年を越える歴史の中でも最も深刻な豪雨と洪水をもたらしました。とりわけ同国南部および南東部は、最大の被害を受け、洪水や地滑りにより多くの死傷者・被害者を出しました。



公式発表によると、300 人以上の死者と 177,820 世帯（内訳：マタラ地方 83,300、ガール地方 40,000、ラトナプラ地方 50,000、カルタラ地方 24,650、ガンパハ/コロポ/ハンバントータ地方計 11,000）が被災した模様で、政府は救援資金として 1,700 万ルピーを拠出すると発表し、さまざまな国際援助も次々と現地に到着しています。また、この洪水によって 15,200 軒の家屋が全壊、26,300 軒が半壊しました。地域住民の他にも国際災害救助隊が被災者を救出する姿も見かけられました。

被災地のインフラの多くは大打撃を受け、ハンバントータ、マタラ、ガール、ラトナプラカルタラ各地方の数多くの道路が浸水、地滑りによって不通となっています。さらに、洪水と地滑りは約 20 万人の学校児童や学校施設にも影響を与えています。このような惨事に加え、汚水による疫病といった二次災害も予測されています。一次災害による被害額は 7、8 億 ドルとも言われ、5 月 23 日現在でも雨が降り続き、避難が行われていることから、公式の被害額は今後増えてくると思われます。

スリランカは元来、暴風や洪水の影響を受けやすい地域で、過去にも数多くの深刻な洪水も経験しましたが、死者の数、家屋を失った者、負傷者、被害額といった点から今回の洪水はもっとも深刻なものであると言えます。同国政府は現在、国際緊急援助を要請し、被災者救援のために全力を尽くしています。また首相は、大統領を筆頭に首相及び担当大臣から構成される防災委員会を招集し、詳細な災害情報の監視や援助活動の調整を行っているところです。

この件につきましてはスリガウリ・サンカル（sanker@adrc.or.jp）までお問い合わせください（写真 2 点は、Daily News, Sri Lanka より提供）。



➤ SOPAC 主催南太平洋コミュニティ防災会議に ADRC 所長が参加 発表

SOPAC（南太平洋地球科学応用委員会：南太平洋諸国、オーストラリア、ニュージーランド、米領グアム、仏領ポリネシア、仏領ニューカレドニアが加盟する資源管理及び防災にかかる南太平洋の地域機関）は、5 月 5-7 日に、フィジーのシガトカで南太平洋諸国の防災担当者会合及び Communities@Risk 国際会議を開催し、主催者の要請に応じ ADRC が参加しました。

これは、防災をテーマとして南太平洋諸国がすべて参加するはじめての国際会議で、今年 1 月の神戸でのアジア地域 ISDR 会議を引続き、南太平洋地域 ISDR 会議として横浜戦略のレビューにも貢献するものとして開催されました。南太平洋防災担当者会合では、各国での防災にかかる法制度や計画の整備、防災行政組織の機能強化とそのための人材育成が今後の大きな課題として焦点をあてていく必要性が強調されました。

Communities@Risk 国際会議では、①持続的なコミュニティのためのリスクマネージメント、②最新技術の防災への適用、③コミュニティの防災活動強化をテーマに発表と討論が行われました。ADRC から参加した西川所長は、テーマ②のなかで、昨年度宇宙開発事業団（NASDA）等とともに実施した、「超高速インターネット衛星と航空機搭載カメラとウェアラブルコンピュータの組み合わせによる広域地震・津波被害映像早期把握システム」について紹介を行い、この技術が多くの島々からなる太平洋諸国での津波被害の早期把握にも応用の可能性があることを紹介し、多くの参加者から熱心な質問を受けました。また、2005 年 1 月に神戸で国連防災世界会議を開催する準備がすすめられていることを紹介しました。この件につきましては所長の西川(nishikawa@adrc.or.jp)までお問い合わせください。



ご意見・ご要望等があれば右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行（予定）